

プライマリ・ヘルス・ケアに関する世界会議

アスタナ宣言

(仮訳)



プライマリ・ヘルス・ケアに関する世界会議におけるアスタナ宣言（仮訳）

2018年10月25日・26日、カザフスタン共和国アスタナにて、プライマリ・ヘルス・ケア40周年を記念して開催されたプライマリ・ヘルス・ケアに関する世界会議において、アルマ・アタ宣言の後継としてアスタナ宣言が出されましたので、国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局による日本語訳（仮訳）を掲載します。なお、この日本語訳は参考のための仮訳のため、正確には原文をご参照ください。

原文（英語）は、WHOの以下のURLからダウンロード可能です（2018年11月30日アクセス）。

<https://www.who.int/docs/default-source/primary-health/declaration/gcphc-declaration.pdf>



プライマリ・ヘルス・ケアに関する世界会議

アルマ・アタから、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標
に向けて

2018年10月25日・26日 カザフスタン共和国アスタナにて

私たち、2018年10月25日・26日にアスタナで開催された「プライマリ・ヘルス・ケアに関する世界会議—アルマ・アタから、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標に向けて」に出席した国家や政府¹の元首、首脳、大臣、代表者は、“すべての人々の健康”を追い求めた、新しく大胆で明確なビジョンを持った1978年のアルマ・アタ宣言と、持続可能な開発のための2030アジェンダに対して表明したコミットメントを再確認し、ここに以下を宣言する。

私たちは、以下について思い描く—

強力な保健システムを通じて、集団と個人の健康とウェルビーイングを優先し、促進し、保護する**政府と社会を**

質が高く、安全で、包括的で、統合され、どこに住んでいる誰にとっても身近にあり、利用しやすく、價格的にも無理なく手が届き、よく訓練を受けて熟練した、意欲に満ち献身的な保健医療専門職により、思いやりと尊敬と尊厳をもって提供される**プライマリ・ヘルス・ケアと保健医療サービスを**

個人とコミュニティが力をつけ、自らの健康とウェルビーイングの維持と向上に携わっている、**健康を可能にし、かつ健康に資する環境を**

当該国の保健医療政策、戦略、計画を効果的に支援するために、足並みをそろえた**パートナーと利害関係者を**

¹ 同様に、地域の経済統合組織の代表も。

I

私たちは、到達することができる最高水準の健康を何の差別もなく享有するという、すべての人が有する基本的人権に対して、自らのコミットメントをはっきりと認める。私たちは、アルマ・アタ宣言から40周年にあたり、そのすべての価値と原則、特に正義と連帯に対する自らのコミットメントを再確認し、平和、安全保障、社会経済発展のための健康と、それらの相互依存関係の重要性を強調する。

II

私たちは、プライマリ・ヘルス・ケアの強化は人々の身体的・精神的健康と社会福祉を向上するための、最も包括的で効果的、効率的な方法であり、プライマリ・ヘルス・ケアはユニバーサル・ヘルス・カバレッジと健康関連の持続可能な開発目標のための、持続可能な保健システムの礎であると確信している。私たちは、この宣言が貢献するであろう2019年のユニバーサル・ヘルス・カバレッジに関する国連総会ハイレベル会合の招集を歓迎する。すべての人々が経済的困難に立たされることなく、自らが必要とする質の高い効果的なヘルスケアに公平にアクセスできるよう、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成するための道を、私たち一人ひとりが追及していく。

III

過去40年間の目覚ましい進歩にもかかわらず、私たちは依然として取り組みが行われていない健康に対するニーズが世界中に存在することを認識している。多くの人、特に貧困者や社会的弱者にとって、健康を維持することは大きな課題である。私たちは、健康における不公平性や健康格差が解消されない状況が続くことは、倫理的、政治的、社会的、経済的な観点から受け入れることはできない。

私たちは、疾病負荷が増大している非感染性疾患の課題に、引き続き取り組む。喫煙、過度のアルコール摂取、不健全な生活様式や行動、不十分な身体活動や不健康な食事が非感染性

疾患の原因となり、健康状態の悪化や早期死亡につながっている。私たちが直ちに行動を起こさない限り、戦争、暴力、感染症の流行、自然災害や気候変動、異常気象、その他の環境要因に起因する健康被害により、人々が早く命を落とすという状況が継続するだろう。感染症のアウトブレイクや薬剤耐性のように、国境を越えて拡大する世界的な健康への脅威を食い止める機会を逸してはならない。

健康増進、予防、治療、リハビリテーションという医療サービスや緩和ケアは、どこに住んでいても、誰にとっても身近にあるべきである。私たちは、何百万人もの人々を健康への過度の出費による貧困、特に極度の貧困から救わなければならない。私たちはこれ以上、健康増進や疾病予防の重要性を軽視し、断片化され、安全でない、また質の低いケアを容認することはできない。私たちは、医療従事者の不足と偏在の問題に取り組まなければならない。私たちは、増大する医療や医薬品、ワクチンの費用に関する問題に対処する必要がある。私たちは、非効率性が招く医療費の無駄を容認することはできない。

私たちは、以下についてコミットする

IV

すべてのセクターにおいて、健康課題に対する大胆な政治的選択を実施する

私たちは、人々が到達可能な最高の健康状態を享受する権利を促進し保護する上で、あらゆるレベルにおける政府の主要な役割と責任を再確認する。私たちは、多部門の協調行動やユニバーサル・ヘルス・カバレッジを推進し、プライマリ・ヘルス・ケアを強化するために利害関係者を巻き込み、地域のコミュニティをエンパワーする。私たちは、健康の経済的、社会的、環境的決定要因に焦点を当て、“すべての政策において健康を位置付ける”取り組みを主流化することでリスクを低減することを目指す。私たちは誰一人取り残さない、“すべての人々の健康”を達成するために、より多くの利害関係者を巻き込みつつ、利益相反に対処し、透明性を促進し、参加型ガバナンスを実施する。私たちは、保健システムを弱体化させ、健康上の利益を縮小させるような対立を避ける、もしくは最小限にするよう尽力する。

緊急事態においては、人道主義の原則に沿った継続的なケアと必要不可欠な保健医療サービスの提供を確保しつつ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの中核であるプライマリ・ヘルス・ケアを強化させるために一貫した包括的手法をとらなければならない。私たちはプライマリ・ヘルス・ケアを強化するために、人材や他の資源を適切に提供し配分する。私たちは、プライマリ・ヘルス・ケア に対する強い支持を表明した政府のリーダーシップと模範的行動を称賛する。

V

持続可能なプライマリ・ヘルス・ケアを構築する

プライマリ・ヘルス・ケアは、国の法令、環境、優先度に合わせて実施される。私たちが、プライマリ・ヘルス・ケアに投資することにより、保健システムを強化する。私たちは、必要不可欠の公衆衛生機能を優先しつつ、保健医療サービスにおいて最初の接点であるプライマリ・ケアに必要な能力と基盤を強化する。私たちは、疾病予防と健康増進を優先し、包括的な予防・増進・治療・リハビリテーション・緩和ケアを通じて、すべての人の生涯にわたる、あらゆる健康ニーズを満たすことを目指す。プライマリ・ヘルス・ケアは、予防接種、スクリーニング、感染性疾患及び非感染性疾患の予防・制御・管理、妊産婦・新生児・小児・思春期の子どもたちの健康を増進・維持・改善するケアとサービス、メンタルヘルス、性と生殖に関する健康²に限定することなく、包括的なサービスとケアを提供する。また、プライマリ・ヘルス・ケアはアクセスが可能であり、公平であり、安全であり、質が高く、包括的で、効率的で、受容可能で、利用可能で、支払い可能な価格であり、人間中心でジェンダーに配慮した、継続的で統合されたサービスを供給する。私たちは、サービスが途切れることを避け、一次レベルから他のレベルにおけるケアの間に、機能的なリファラルシステムを確保するよう努力する。持続可能なプライマリ・ヘルス・ケアを持つことは、保健システムの強靱性を高め、感染症やアウトブレイクの予防、検出、対応においても大きな便益を私たちにもたらす。

² 総意に参加しつつ、アメリカ合衆国の代表団は、国際人口開発会議報告書の行動プログラムの目標 8.25、家族計画の方法としての中絶は決して促進されるべきではない、への注意を喚起したい。

プライマリ・ヘルス・ケアの成功は、以下により実現する

知識と能力開発 私たちは、科学的な知識と伝統的な知識を含むあらゆる知識を活用して、プライマリ・ヘルス・ケアを強化し、保健の成果を改善し、すべての人に彼らの権利・ニーズ・尊厳・自主性を尊重した正しいケアが、適切な時に最も適切なレベルで提供されることを保障する。私たちは引続き、研究を実施し、知識・経験を共有し、能力開発を行い、保健医療サービスとケアの提供を改善する。

保健人材 私たちは、プライマリ・ヘルス・ケアレベルで働いている保健医療専門職とそれ以外の保健医療従事者が、幅広い分野における人々のニーズに効果的に対応できるよう、働きがいのある人間らしい仕事と、適切な報酬を創出していく。私たちは引続き、適切な多職種協働を備えたプライマリ・ヘルス・ケアに従事する者の教育・研修・採用・育成・意欲・定着に投資していく。私たちは、プライマリ・ヘルス・ケアに従事する者が、地方、僻地、開発が遅れた地域に定着し、そこで役立つよう努力していく。保健人材の国際的移動が、国の、特に開発途上国の国民の健康ニーズを満たす能力を弱体化させてはならない。

テクノロジー 私たちは、質が高く、安全で、効果があり、手頃な価格の薬、ワクチン、診断法、その他のテクノロジーの使用を通してさまざまなヘルスケアサービスへのアクセスを広げていくことを支援する。これには、必要に応じて伝統薬も含まれる。私たちは、それらへのアクセスのしやすさ、適正で安全な使用、個人情報保護を推進する。情報システムの進歩を通して、私たちは適切に細分類された質の高いデータをうまく収集できるようになり、情報の継続性、疾病サーベイランス、透明性、説明責任、保健システムのパフォーマンスのモニタリングを更に改善することができる。私たちは、さまざまなテクノロジーを駆使して、ヘルスケアへのアクセスを改善し、保健医療サービス提供体制を強化し、サービスの質と患者安全を改善し、ケアの効率性と協調性を高めていく。デジタルテクノロジーやその他のテクノロジーを通して、私たちは、個人とコミュニティが彼らの健康ニーズを同定し、サービスの計画と提供に参加し、彼ら自身の健康とウェルビーイングの維持において積極的な役割を担うことを可能にしていく。

財政 私たちは、保健の成果を改善するために、引き続きプライマリ・ヘルス・ケアへ投資することをすべての国に求める。私たちはアクセスを改善し、より良い保健の成果を達成するために、更なる保健への資源配分、プライマリ・ヘルス・ケアのための適切な資金調達、医療提供者への適切な支払いシステムの確保により、非効率で不公平な保健医療サービスの利用が原因で人々が経済的困難に陥らないよう対処する。私たちは、財政的な持続可能性を高め、国の保健システムの効率性と強靱性を改善し、国の状況に基づいたプライマリ・ヘルス・ケアへの資源の適切な配分がなされるよう努力する。私たちは、継続ケアを担保した質の高いプライマリ・ヘルス・ケアサービスへのアクセスを提供することにより、脆弱な状況や紛争地域にいる人々を含め誰ひとり取り残さない。

VI

個人とコミュニティをエンパワーする

私たちは、個人、家族、コミュニティ、市民社会が、健康に影響を及ぼす政策や計画の策定や実施に参加することを支援する。私たちは、ヘルス・リテラシーを高め、健康に関する信頼できる情報について、個人やコミュニティの期待に応えるよう努める。私たちは、人々が自らの健康や彼らがケアしている人の健康を維持するために必要な知識、技術、情報源を得られるよう、保健医療専門職の指導を受けつつ支援する。私たちは、人々の連帯、倫理、人権を保護し促進する。私たちは、コミュニティのオーナーシップを高め、健康を可能にし、かつ健康に資する環境において、より多くの人々がより健康的な生活を送るため、公共及び民間セクターが説明責任を果たすことができるよう貢献する。

VII

利害関係者の支援を、国の政策、戦略、計画に整合させる

私たちは、保健医療専門職、学術団体、患者、市民社会、現地、及び国際的なパートナー・機関・ファンド、民間セクター、信仰を基盤とした団体などすべての利害関係者に、人間中心でジェンダーに配慮したアプローチを取りながら、全セクターの国家政策・戦略・計画と整合させること、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成するために、より強く持続可能なプライマリ・ヘルス・ケアの構築に向けた協調した行動をとることを要求する。利害関係者による支援は、国がプライマリ・ヘルス・ケアに対して十分な人的、技術的、財政的、及び情報の資源を向ける助けとなる。この宣言を実行する際には、国と利害関係者は、国家の主権と人権を十分に尊重しながら、知識および優れた事例を共有し、パートナーシップと効果的な開発協力の精神を持って協力する。

- 私たちは、政府、世界保健機関、国際連合児童基金、その他のすべての利害関係者と連帯、連携して、この宣言に従って行動する。
- すべての人々、国、組織は、この運動を支援するよう奨励される。
- 国は、利害関係者と協力して、この宣言の実施状況を定期的に確認する。
- 私たちは共に、誰ひとり取り残さず、すべての人の健康とウェルビーイングを実現することが可能であり、それを実現する。



日本語訳は国立国際医療研究センター国際医療協力局による仮訳である。